

令和6年

国東市教育委員会 第6回 定例会

会 議 録

日時：令和6年6月24日（月）午前9時30分

場所：アストくにさき3階会議室

第6回定例会議事日程

会 期

令和6年6月24日（月）

開会 午前 9時30分

閉会 午前 10時36分

場 所

アストくにさき3階会議室

議 事

議案第23号 準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

報告・説明事項

○令和6年度国東市一般会計補正予算（6月補正）について

○令和6年第2回国東市議会定例会 一般質問・議案質疑について

その他

出席者（13名）

教育委員（5名）

教 育 長

岩 光 一 郎

教育長職務代理者

古 城 芙美枝

委 員

手 嶋 秀 法

委 員

松 尾 泰 二

委 員

福 永 泰 信

教育委員会事務局（8名）

教育総務課長

村 井 奈穂子

学校教育課長

末 平 誠

社会教育課長

黒 木 宏 一

文化財課長

榎 本 雅 彦

図書館事務長

都 留 英 基

給食センター所長

高 橋 剛

教育総務課総務係総括リーダー

河 野 裕 章

教育総務課総務係主事

戸 高 南 美

【午前 9 時 3 0 分】

村井教育総務課長 開会宣言

【教育長あいさつ】

岩 光 教 育 長

【会議録署名委員指名】

岩 光 教 育 長 会議録署名委員に松尾委員、手嶋委員を指名

【前回会議録承認】

全 委 員 承 認

【各課報告及び今後の日程】

村井教育総務課長	6 / 5	小原小学校保護者説明会	
	6 / 6	国東市議会第 2 回定例会	一般質問
	6 /10	国東市議会第 2 回定例会	一般質問
	6 /10	旭日小学校保護者説明会	
	6 /13	国東市議会第 2 回定例会	議案質疑
	6 /13	令和 6 年度国東地区学校保健会総会	
	6 /14	国東市議会文教厚生常任委員会	
	6 /17	国東小学校保護者説明会	
	6 /21	国東市議会第 2 回定例会	閉会
	6 /24	令和 6 年教育委員会第 6 回定例会	
	6 /25	第 3 回開校準備委員会	
	7 / 1	管理職会議	
末平学校教育課長	6 / 4	郡・市総合体育大会	
	6 / 8	郡・市総合体育大会（剣道）	
	6 /10	市町村健康教育主管課長及び学校給食共同調理場長会議	
	6 /12	第 1 回中学校教科研究協議会	
	6 /17	別府教育事務所学校訪問	
	6 /18	郡・市陸上競技大会	
	6 /18	別府教育事務所学校訪問	
	6 /19	中学校教科研修協議会	
	6 /19	市教委学校訪問	
	6 /20	市教委学校訪問	
	6 /24	別府教育事務所学校訪問	

6 / 25 市教委学校訪問
 6 / 25 第 2 回国東市校長会議
 6 / 26 別府教育事務所学校訪問
 6 / 28 別府教育事務所学校訪問
 6 / 28 市教委学校訪問
 7 / 2 くにさき地区研幹事会
 7 / 3 市教委学校訪問
 7 / 8 くにさき地区研推進委員会定例会
 7 / 19 1 学期終業式
 7 / 22 第 2 回特別支援教育支援員研修会
 7 / 30 教職員人権教育フィールドワーク
 7 / 31 第 2 回くにさき地区教育研究会・教育課程研究会
 7 / 31 新採用等人権教育研修会

黒木社会教育課長 6 / 8 第 4 0 回大分県小学校陸上競技会交流大会
 6 / 14 県青少年育成県民会議
 6 / 15 くにみマリンスポーツ施設・海開き神事
 6 / 16 くにみマリンフェス 2 0 2 4
 6 / 17 国東市協育ネットワーク推進協議会総会
 6 / 17 人権教育研究委員会
 6 / 18 スポーツ協会第 1 回運営委員会（大分県民スポーツ大会）
 6 / 19 第 2 回人権を学ぶ会
 6 / 21 県社会教育委員連絡協議会総会・研修会
 6 / 25 公民館運営審議会
 6 / 27 国東市青少年健全育成市民会議総会
 7 / 1 市人権担当者定例会
 7 / 3 くにさき地人協第 2 回研修会
 7 / 12 別社研第 2 回研修会
 7 / 17 第 2 回身になる人権講座
 7 / 24 人権を学ぶ会②

都留図書館事務長 6 / 8 おはなし会（くにさき・武蔵・安岐図書館）
 6 / 9 おはなし会（国見図書館）
 6 / 13 赤ちゃんおはなし会
 6 / 18 市図書館ブックスタート＜対象 1、6 歳児＞
 6 / 25 市図書館ブックスタート＜対象 4～5 か月の

乳児＞

- 6 / 28 図書館臨時休館（資料整理日）
- 7 / 2 移動図書館「どーなつつステーション」
（くにさき・安岐図書館）
- 7 / 3 移動図書館「どーなつつステーション」
（国見図書館）
- 7 / 4 移動図書館「どーなつつステーション」
（武蔵図書館）
- 7 / 7 身になるセミナー「お気軽お抹茶」（くにさき図書館）
- 7 / 10 県立図書館視察
- 7 / 13 おはなし会（くにさき・武蔵・安岐図書館）
- 7 / 13 関連図書の協働展示（大分県立美術館「養老孟司展」）
- 7 / 14 おはなし会（国見図書館）
- 7 / 20 夏の工作教室（国見図書館）
- 7 / 21 夏の工作教室（くにさき図書館）
- 7 / 24 夏の工作教室（安岐図書館）
- 7 / 27 夏の工作教室（武蔵図書館）
- 7 / 30 令和6年度第1回国東市図書館協議会
- 7 / 30 ブックスタート（対象：4・5か月乳児）
市図書館

- 榎本文化財課長
- 6 / 7 【3】社会見学受入（明治学園中：北九州市）
 - 6 / 8 【4】体験受入（ウッディ：別府市）
 - 6 / 12 古代石がま講座②
 - 6 / 14 たたら製鉄講座②
 - 6 / 15 【5】体験受入（はなぐるま：大分市）
 - 6 / 18 古代とんぼ玉講座②
 - 6 / 20 【5】体験受入（富来小：田植え）
 - 6 / 21 古代かずら工芸講座②
 - 6 / 22 【6】体験受入（チャイルドハート高田：豊後高田市）
 - 6 / 22 第1回くにさき学推進委員会
 - 6 / 24 第1回文化財調査委員会
 - 6 / 26 古代土器づくり講座②
 - 6 / 27 古代編物講座②
 - 6 / 27 古代土器づくり講座②

6 / 27 六郷満山日本遺産推進協議会第7回総会
 6 / 28 文化財愛護少年団総会
 6 / 29 【7】体験受入（教育ネットワーク 親子体験）
 7 / 9 古代土器づくり講座③
 7 / 9 【8】体験受入（宗像れきしを学ぼう会：宗像市）
 7 / 10 古代石がま講座③
 7 / 12 たたら製鉄講座③
 7 / 17 古代とんぼ玉講座③
 7 / 25 古代編物講座③
 7 / 25 史跡安国寺集落跡再整備会議
 7 / 25 【8】体験受入（武蔵西地区公民館武溪学級）

高橋給食センター所長 6 / 10 市町村健康教育主管課長及び学校給食共同調理場長会議
 7 / 1 令和6年度学校給食費 5月分納期限
 7 / 11 夏野菜カレーの日（国見学校給食共同調理場）
 7 / 19 夏野菜カレーの日（国東給食センター・安岐学校給食共同調理場）
 7 / 31 令和6年度学校給食費 6月分納期限

岩 光 教 育 長 よろしいでしょうか。各課からこれまでの報告、また今後の日程ということの説明がありましたが、そのことについてご質問、またご意見、ご感想等ございますか。

手 嶋 委 員 まず図書館に質問なのですが、2頁、6月18日の市図書館ブックスタートが実施されていたと思うのですが、参加状況等が分かれば教えてください。

都留図書館事務長 参加状況なののですが、ブックスタートにつきまして、毎回10名位の規模になります。今回8名ということで伺っております。以上です。

手 嶋 委 員 確認なのですが、市全体に対象があるというふうな感じで合っていますか。

都留図書館事務長 はい。場所は毎回保健センターで行われるのですが、対象は勿論市全体が対象ということになります。

手 嶋 委 員 また25日は何人位来そうとか、分かりますか。

都留図書館事務長 申し訳ないです。そこは把握出来ておりません。

手 嶋 委 員 ありがとうございます。

岩 光 教 育 長 その他ございますか。

福 永 委 員 文化財課に伺います。2 頁、28 日に文化財愛護少年団総会というのがあります。文化財愛護少年団について、どういうものなのかご説明頂きたいと思います。

榎本文化財課長 文化財愛護少年団というのは、各旧町の中にそれぞれ文化財を広めていこうということで子どもたちに文化財に触れ合うための会になっています。その総会を今週末、金曜日に行いたいと思っております。

福 永 委 員 子どもたちは大体どれ位の数いらっしゃるのでしょうか。

榎本文化財課長 人数的には今のところ余り人がいない状況になっています。なので、今後数を少しでも増やしていきたいと思っております。以上です。

福 永 委 員 この活動自体は年に何回かあるのでしょうか。少年団の活動ってというのは。

榎本文化財課長 2 年に総会があって活動が 1 回と、県がある時にその会に 1 回とか出席させて頂いております。

福 永 委 員 ありがとうございます。

岩 光 教 育 長 よろしいですか。愛護少年団の活動について。

松 尾 委 員 すみません。愛護少年団は 20 年位やっていたことがありますので、内容は全部分かっているのですが、段々下振れというか、寂しい状態になっているのではないかと思います。大体学校任せの地区が多かったので、中々うまく続かないのではないかと。田深、私たちのところは、幸いにして何とか頑張ってやっているのですけれども、中々維持するのは難しいのだろと思って、一応興味はあって、また資料を貰いにいこうかと思っていました。結果がまた分かれば教えて貰いたいと思います。

榎本文化財課長 今週にありますので、また来月にこういったことをしましたという報告をしたいと思います。

松 尾 委 員 ありがとうございます。

岩 光 教 育 長 はい。では、よろしくお願いします。その他ございますか。

古 城 委 員 すみません。文化財課でしょうか。体験受入について伺いたいのですが、多分放課後等デイサービスの方たちが結構沢山というか、回数来られているのかと思いますが、どんな感じでしょうか。それと、どのような体験をされているのか教えてください。

榎本文化財課長 今古城委員が仰ったとおり、放課後児童クラブの方が、それと施設の方が多いです。基本的に火起こし体験と、まが玉づ

くりを体験して、大体半日位いらっしゃって、お昼ご飯をそこで食べて帰るという形になっています。

古 城 委 員 分かりました。ありがとうございます。

岩 光 教 育 長 はい。それでは、その他ございますか。よろしいでしょうか。それでは、報告はこれで終わります。

【議 事】

議案第23号 準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

村井教育総務課長 〈配付資料をもとに内容について説明〉

岩 光 教 育 長 よろしいでしょうか。

全 委 員 はい、よいです。

【報告・説明事項】

○令和6年度国東市一般会計補正予算（6月補正）について

○令和6年第2回国東市議会定例会 一般質問・議案質疑について

岩 光 教 育 長 よろしいでしょうか。

福 永 委 員 文化財課に伺います。補正予算、六郷満山推進事業とあります。そして議会の方でもそのことが取り上げられております。平成30年に日本遺産に認定されましたとありますけれども、この日本遺産として今後も認められていくために色々な事業をしていく必要があるということですけれども、この議会の一番最後の方に載っていますけれども、財源を文化庁の方からもし頂けたら、色々考えてくださった事業が認められたらしていきたいと。でも、応募して採択されなかったら、事業は実施できない。何かその、ここはあっさりだなと思うのですけれども、もし何か市として文化庁のこれに関わらず、市として折角ここまで考えて時間費やしてやったのに、全く何もしないというのは非常にもったいないとちょっと思いました。そして、こういう日本遺産に指定されて色々な方に国東市含めて国東半島の色々など

ころに多くの方々にお越し頂きたいと思うのですけれども、来て頂くだけでは何にも僕はならないと思っています。最終的には国東市と近隣自治体に来られた方々がお金を落として頂きたいのです。そうでないと、全く地域が活性化にならないし、情報発信だけでは中々難しいし、この事業にしても商品を開発してそれを買って頂いてお金を落として頂くと。遊びに来て頂いて、色々飲食店回ったり泊まって頂いて、国東市にお金を落として頂くと。そこら辺を文化財課だけではなくて観光協会とか色々なところと連携をしてやっていらっしゃると思いますけれども、もっともっと積極的にして頂いてもいいのかなというふうに思いますが。まず文化庁のモデル事業に応募して採択されなかった場合、これは全く実施しないということではよろしいのですか。

榎本文化財課長

先程福永委員が仰ったあとで、平成30年に日本遺産に認定されてから、豊後高田市と国東市の方で推進協議会ということで行っております。今回文化庁のモデル事業に応募して採択されなかった場合は、ということではありますが、実際に年間国東市で150万、豊後高田市で150万で300万の予算を持って事業は行っております。平成30年から令和5年までは国の補助金と交付金等を活用しながら事業を行っております。今年度はそういった補助金、交付金がありませんでしたので、当初のとおり300万で今まで開発を行ってきた商品、ぬいぐるみとか色々な商品をしていますので、それを持って県外の方に、福岡とかにこういった商品を発売していますというのは予定しております。あと、その他の日本遺産に関するシンポジウムは、その300万の予算の中で行うようにしております、それ以上に事業を行うために今回、今年度の4月になってから公募があったのですけれども、それに応募しても採択されたら、それ以上の旅行に関する商品の開発等とかを予定しております。実際に今までも色々な今まで何千万か、補助金だけで1億円位は多分補助金と交付金で使って事業は行っております。ホームページを作ったりだとか、看板を設置したりだとか、商品を開発したりして行っております。ただ、今まで実際の協議会が将来的に国東市、豊後高田市から独立をして第三者の機関が運営を行っていく方針が文化庁の方からなっていますので、うちとすれば色々なものをして、自走出来だ

したら、団体の方をお願いをして、オブザーバーとして市の方が入っているという感じが理想的なのですが、今のところそこまでいっていませんので、今回補助金が取ればそれで開発して年間の売り上げが昨年までが400万位だったのを、それを800万とかに上げて自走していきたいということでしておりますので、採択されなかったからといって何もしないという訳ではなくて、今まで行ってきたものをもう少しアピールしていくという事業だけは持っております。以上です。

福 永 委 員 ありがとうございます。お金をかけて、文化財課だけではないと思いますけれども、お金をかけて何か事業をする時に、色々調査したり、どういうふうなやり方が一番良いのか考えて実際にやってみて、その後やった結果どうだったのかという検証ですよね。それが僕は一番大事だと思うのですが、実際それが良かったのかどうなのか。もっと違う取り組み方がなかったのか。そういったところももう少し踏み込んでやったことに対する検証というのをしっかりやって頂いて、また今後の事業に、商品開発とか色々なことに取り組んで頂きたいと思います。

榎本文化財課長 実際今回で6年目を迎えたので、今年の令和6年に文化庁のヒアリング、この日本遺産でどういった事業を行ってきたのかということで継続審査を受けております。そこで実際に文化庁の方がこのような事業では駄目ですよというものに、もし該当すれば、継続の中で最終的には日本遺産の取り消しという形になりますけれども、今回5月の24日に受けた文化庁の継続審査は今のところ多分大丈夫だろうということで、結構事業を行っていますねということで言われていますので、7月中旬位に結果は出ますけれども、それは多分大丈夫ではないかと思います。その辺で文化庁の方に今までこういったことをしていますという評価と事業の分の報告をしております。

古 城 委 員 韃靼そばプリンというのは、国東市の何処かで作られていて、商品の紹介とかで市報と一緒に回って来たりしていますか。その中に韃靼そばプリンとかいうのがあった気がするのですが、これは売り出されているものですか。それと、くにさきガチャガチャというカプセルトイというのは、いつも出している物ですか。増産を止めるかもしれない

というそういう書かれ方なのだなと思って、ちょっと私その辺のところが分からなかったのですけれども。

榎本文化財課長

韃靼そば茶を使ったプリンというのを、実際に豊後高田市の方が作っております。実際に、先程申し上げましたとおり、豊後高田市と国東市で行っておりますので、お互いの市の特産品を使って商品を開発していくので、豊後高田市の方は韃靼そば茶を使ったプリン、それと前に書いているクラフトジンという今予定しているのは、七島蘭の風味を付けたジン。ジンは香り付けしたお酒ですので、その香り付けに七島蘭を使うということで、七島蘭は国東市の特産、韃靼そばは豊後高田市の特産ということで、それぞれの地域にあった商品を使って開発して、それを日本遺産という名を付けて売り出す。くにさきガチャガチャというのは、一応題材は出来ていまして、それをただ何百個単位で工場に発注してするので、この発注にあたる会社が中国の方でコロナとか洪水の関係で増量出来ていけませんので、販売までには至っていませんということです。実際こちらの方は、クラウドファンディングの方でホームページの方にも載っているのですけれども、そちらの方で寄付をして頂ければ、ガチャガチャの試作品を何個かプレゼントするという事は載っています。以上です。

岩光教育長

色々な文化財の保護ともう一つは活用というところで、市の方も何か観光と教育とを結びつけながら、色々国東市の活性化へというところ。福永委員が言われたのは、そういうところを結び付けていくというようなところが大事ではないですかということですが、これまでの事業としては行っていくと。古城委員、色々な商品のところはよいですか。

古城委員

はい。

岩光教育長

はい。その他ございますでしょうか。報告事項ということですので、よろしいですか。

福永委員

すみません。学校教育課に伺います。市議会の資料ですけれども、32頁に国東高校 SPACE コースというところで質問を議員さんから頂いております。これを読ませて頂くと、2年生に進級する際にコースを選択することが出来ます。それで、その下の方を読むと、宇宙関連学習は3年間で最大490時間学べると。でも、実際にその宇宙関連の学習は2年生に上がってから初めて学習が始まる訳ではない。1年生から取り組んでいくのですか。

末平学校教育課長 コースとして分かれるようになるのは2年生になってからSPACE コースというのと、今通常の進学コースと呼ばれているものが、ドリーム・カム・トゥルーコース、ドリカムコースという名前に変わるらしいですけれども、その二つに分かれます。ただ、1年生の時から総合的な探求の時間を使って宇宙に関する学習はもうスタートしていると。これはもう普通課の皆がスタートしておきながら2年時になってコースに分かれてSPACE コースの子たちはもっと深い学習をしていくというような形になっています。なので3年間という表現です。

福 永 委 員 ありがとうございます。それで、その下にSPACE コースの目的、それは宇宙からの視点で地球的な課題に向き合い現実の社会での問題発見や解決、そして新たな価値の創造につなげられる人材の育成を目的としているというのがあります。非常に内向きな目的だなと。もっと宇宙だったら、もっと宇宙に飛び出していくような、壮大なイメージでと自分は思ったのですが、何かえらく内向きな目的だなと思って、余り魅力を感じないのですが、まあそれは高校のあれなので、これは僕の意見です。出来たら、もしあれだったら、色々なオープンスクールなどで説明されておるようなので、何かパンフレットとかどういふご案内をされているのか、もしそういう新しく高校に進学される方々に対するパンフレット等があるのか分かりませんが、何かもしあるのであれば、見させて頂けたらなとは思いました。

末平学校教育課長 宇宙と聞くと、そういうイメージというか、月に行く、火星に行くというような本当に最先端を極めていくような学習というイメージがあるのですが、そういった学習というか研究のスタートもやっぱりこういった宇宙と地球を繋ぎ合わせたような学習からスタートしていくのかなというふうに思っていますし、毎年どんどん新しい宇宙関連の企業が生まれているのですが、でもそれも殆ど宇宙から地球を見た時に生まれるビジネスに関わることが殆どということですので、高校生の学習の場としては、宇宙からの地球の課題解決、例えば農業の問題であるとか、海に広がっているプラスチックごみをどう回収するかとか、そういった視点を持って学習していくということです。これに関してゲストティーチャーというか、来てくれる方は本当に超一

流の東大の先生であつたりとか、宇宙工学を最先端でやっている方とか、そういった方の話が聞けるので、私は魅力的だなと思います。けれども、福永委員が仰られたようにどうアピールしていくかというところが非常に大事なかなと思いますので、またその辺の状況については、県教委と高校が進めていることですが、こちら情報も掴んでいきたいと思ひますし、パンフレットございますので、次回でよろしければお配りしたいと思ひます。

手 嶋 委 員 関連ですが、国東市には梅園の里に大変立派な天体望遠鏡が設置されていて、どれ位活用されているのか僕は知らないのですが、今内向き、外向きという話があつたのですが、地元にある資源も十分に活用されていくのも良いのではないかなと感じましたので、議事録に残ることを期待しながらお伝えしたいと思ひます。以上です。

岩 光 教 育 長 ありがとうございます。それでは今2番の令和6年度市議会定例会一般質問・議案質疑についてというところについてということによろしいですかね。これは何か事務局から説明が無いのですね。どこからでも結構ですので、ご質問等あれば出して頂きたいと思ひます。

福 永 委 員 引き続き学校教育課に伺いますけれども、38頁にヤングケアラーについて質疑されています。実際にヤングケアラーという子どもさんが、対象になる子どもさんが国東市内にいらっしゃるのか。いるのかどうかというのはお分かりですか。

末平学校教育課長 ヤングケアラー自体の定義というものが結構不確かなところがあつて、今年度は新しく法律が出来てその定義がある程度固まってきたところでありまふ。前回の、令和3年度の調査の時点でどのようにヤングケアラーを捉えるかというところがあるのですが、家族等のお世話によって自分のしたいことが制限されているというふうに答えたところを、別府市とかもそうなのですが、ヤングケアラーとして捉えているということでした。それだけではなくて、日頃から福祉課との関連の中で支援が必要だという家庭の情報等を踏まえて考えた際に、令和3年の調査の時には国東市にはいないという結果になっております。

福 永 委 員 ありがとうございます。自分もこれ、ヤングケアラーという言葉の定義ですよね。それは非常にこういうこともはまるのか、家の手伝いなんか普通に保護者が忙しかつたら子ど

もたちに出来る範囲ちよつとしてもらうとか、それがまあ普通だと自分は思っていたのですけれども、例えば勉強が出来ない程介護しなければいけないとか、本当に普通というか、それはどうなのかという感じの状況に置かれている子どもさんなのかなと僕は思ったのですけれども。でも、そうでもないような、あやふやな感じがしたので、実際に把握というのは難しい分もあるとは思いますが、一応福祉課の方とも色々連携を取りながら、もしそういうことがあるのであれば、対応して頂きたいなというふうに思います。すみません。

末平学校教育課長

私も最初この調査を見た時に、家族のお世話等でしたいことが出来なというところだけでいくと、本当にこれまで家族が、例えばお兄さんが妹の面倒を見るとか、これまで良いこととされてきたものが、子どものテレビを見たいのに見れないとか、自由にしたいのに出来ないというようなことで、ここにかかっていくのではないかというようなちよつと不安に思ったのですけれども、よくよく調査内容等を見ていくと、したいことが出来ないと答えた後に、そのしたいこととは何ですかという質問が追加でありまして、その中で例えば学校に行きたいけど行けないとか、そういった選択肢もあります。そういった子どもたちを拾い上げて支援をしっかりとしていくということが大事なかなと思うので、ヤングケアラー何人という捉えも必要なのではないでしょうか。そのそれぞれの子がどんな課題を、困難を持っているかというところに個別の支援をしていくということに繋げていきたいというふうに思っています。

岩 光 教 育 長
福 永 委 員

はい。よろしいですか。その他ございますでしょうか。
35頁に学校給食の方なのですけれども、下の方、エピペンの設置状況、アレルギーの児童に対する各学校で栄養教諭による研修を実施とありますけれども、一般のそれ以外の先生に対する研修はないのでしょうか。

高橋給食センター所長

すみません。その書き方がよくないのかもしれませんが、年度当初に校内研修という形で栄養教諭の先生から学習するという形になるので、学校の先生は皆さん、その学習に参加するということになりますので大丈夫です。

岩 光 教 育 長

よろしいですか。栄養教諭というと、栄養教諭がない学校はしていないのかというような感じになるのだけれども、栄養教諭による研修を通して、養護教諭とかは各学校にい

らっしゃいますので、そういうエピペンが必要な児童、生徒のいる学校は必ずこれをやっていますし、先生方は異動しますから、必ずそういった児童、生徒がいない学校は、こういうことが大事だといって研修しているところであります。はい。他にございますか。よろしいでしょうか。

全 委 員 はい、よいです。

【その他】

【午前10時36分 閉会】

村井教育総務課長 閉会宣言

令和6年7月31日

(署名委員) 教育委員 松 尾 泰 二 ㊟

教育委員 手 嶋 秀 法 ㊟

(会議録作成者) 国東市教育委員会
事務局教育総務課総務係 河野 裕章